

令和8年2月16日

商工観光部

佐賀県内オールロケ映画『架空の犬と嘘をつく猫』の原作者  
唐津市出身の作家「寺地はるな」氏が表敬訪問されます

今年デビュー10周年を迎える、唐津市出身の作家、寺地はるな氏の人気小説『架空の犬と嘘をつく猫』が映画化され、1月9日（金）より、全国公開されました。

本作は、寺地はるな氏にとって初の映像化作品であり、令和6年に佐賀県フィルムコミッションの撮影誘致のもと、県内で全編ロケが行われました。本市もツーリズムコミッションの一環として支援し、作品中には市内の風景や建物も登場する地域の魅力が発信される作品となっています。

この度、2月23日（月・祝）に映画館「シアター・エンヤ」において、1日限りの特別上映および舞台挨拶が実施される予定となっており、に、原作者の寺地はるな氏ならびに本作の監督を務めた森ガキ侑大氏が表敬訪問されます。

1 日時

2月24日（火）10時から

2 場所

市長公室応接室

3 訪問者

作家 <sup>てらち</sup>寺地 はるな 氏  
監督 <sup>もりがき</sup>森ガキ侑大 氏

4 対応者

峰市長、中西副市長、商工観光部長

5 そのほか、詳細については別紙のとおり



憎らしいけど愛おしい、「嘘」が紡ぐ家族のカタチ

本件の問い合わせ先

商工観光部 観光課

担当：岡本、清水

電話：直通 72-9127（内線 2321）

## ■作品概要

空想の世界に生きる母、愛人の元に逃げる父、そのすべてに反発する姉、そして思い付きで動く適当な祖父と比較的まともな祖母。そんな家の長男として生まれた山吹は、幼い頃からみんなに合わせて成長してきた。だけど大人になり、彼らの「嘘」がほどかれたとき、本当の家族の姿が見えてきて——？ これは破綻した嘘をつき続けた家族の、とある素敵な物語！

## ■プロフィール



寺地はるな氏（撮影：山本まりこ）



森ガキ侑大氏

### ○寺地はるな（てらち はるな）

1977年、佐賀県唐津市生まれ。大阪府在住。「ビオレタ」でポプラ社小説新人賞を受賞し、2015年6月に作家デビュー。

2017年12月に『架空の犬と嘘をつく猫』を出版。

2020年12月に同作の文庫発売。他の作品には『世界はきみが思うより』（PHP 研究所）、『わたしの良い子』（中公文庫）などがある。

### ○森ガキ侑大（もりがき ゆきひろ）

1983年、広島生まれ。大学時代から映像制作を始める。

2017年にクリエイター集団「クジラ」を創立。

同年、劇場公開映画「おじいちゃん、死んじゃったって。」でヨコハマ映画祭森田芳光メモリアル新人監督賞、フランス・ヴズール国際アジア映画祭国際審査員グランプリを受賞。

代表作にドラマ W「坂の途中の家」、長編映画「愛に乱暴」等がある。

CM・Webムービー、TVドラマ、長編映画も手がけるディレクターとして活躍中。

## ■唐津市の主なロケ地〈作中シーン〉

- ・桜馬場の空き家〈いとう塾〉
- ・札ノ辻公園〈公園〉
- ・札ノ辻橋〈橋の上〉
- ・緒方写真館〈写真館〉